

2019年6月5日

恵泉会会長

秋葉 良成



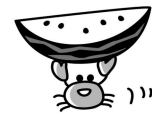
恵泉会「目で見て感じる被災地訪問 2019」のご案内

2011年3月11日の東日本大震災から8年間が経過しましたが、いまなお、多くの方々が復興を願いつつ、階段を昇るように一歩ずつ歩み続けていらっしゃいます。一方で、被災地から離れた場所では、震災の記憶が薄れていくことも心配されています。

このような状況を踏まえ、恵泉会では、「花のきずなプロジェクト」の一つとして、今年で7回目となる被災地訪問の企画をたてました。時間と共に決して風化することのない被災の現実を、自らの目と肌をもって確かめると共に、復興に積極的に取り組んでいらっしゃる方々との心の交流を持ちたいと願っています。皆様のご参加をお待ちしています。

日程：7月30日（火）～31日（水）

30日：7時30分頃 東京駅発 31日：20時頃 東京駅着  
往復新幹線利用、現地では貸切バスにて移動



行き先：宮城県気仙沼市・南三陸町・仙台市（宿泊先：南三陸町『民宿 下道荘』）

定員：20名

費用：35,000円 《往復交通費、宿泊費等（1泊2食）》

\*恵泉会より補助が出ています。

申込：下記の参加申込書を担任の先生にご提出ください。 申込締切日：6月18日（火）

※今年は、シャークミュージアムを見学した後、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館にて防災セミナーを受講します。2日目は高校生と卒業生の被災地訪問でも毎年お世話になっている南三陸町の丸七水産にてホタテ養殖場の見学や交流をさせていただきます。また震災で甚大な被害を受け2016年に閉校した仙台市立荒浜小学校に行く予定です。詳細は参加者に後日お渡しする「しおり」でご案内します。

※お父様のご参加も大歓迎です!!

◇お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。

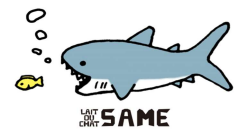
◇恵泉会会員向けのイベントです。生徒は参加できませんのでご了承ください。

◇応募者多数の場合は抽選となります。結果は6月末までにお手紙にてお知らせします。

お手紙が届かない方は下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

問い合わせ先：keisenkai@keisen.ac.jp 件名：「被災地訪問」でお問い合わせください。

※裏面もご覧ください！



\*\*\*\*\*キリトリセン\*\*\*\*\*

<提出先：担任の先生→恵泉会>

申込締切日 6月18日（火）

恵泉会「目で見て感じる被災地訪問 2019」参加申込書

「目で見て感じる被災地訪問 2019」に参加します。

中・高 年 組 番 生徒氏名： \_\_\_\_\_

ふりがな 参加者氏名： \_\_\_\_\_

被災地訪問参加は…

初めて・ \_\_\_\_\_ 回目 電話番号： \_\_\_\_\_

メールアドレス： \_\_\_\_\_



## 恵泉会「花のきずなプロジェクト」について

2011年3月11日の東日本大震災では、自然災害の脅威と、それに備えること、また互いに支え合うことの大切さを改めて私たちは知らされました。恵泉会では、直接被災していない私たちには何ができるのか、何を問われているのか、という問いから始まり、「恵泉らしさを活かした、互いに顔の見えるような活動を継続的に」という活動方針のもと、被災地支援のための「花のきずなプロジェクト」を2012年に立ち上げました。

具体的には、現在は3つの活動をしています。

- ① 中高・大学・卒業生「チームわかめ」の被災地支援活動に対し補助をしています。
- ② 恵泉会の被災地訪問ツアーを企画し、訪問しています。今年で7回目です。
- ③ 被災地の特産品を購入・販売し、支援しています。

今年度は2月の保護者会の日に被災地支援品販売を予定しています。

資金は、恵泉デーでの売上げの一部と、皆さんからの献金によって支えられています。

私たちはこの活動を通して、被災地の方々と知り合い、自然と人との関わりについて考えながら心の交流を深めてきました。これからも被災地の復興を祈りつつ活動していきます。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 卒業生の被災地支援グループ「**チームわかめ**」の活動報告

- ◇ 7月または9月の事業部お仕事会終了後、活動の様子を話してもらう予定です。
- ◇ 「**チームわかめ**」は、高校時代に被災地訪問に参加していたメンバーが中心となり、卒業後も毎年春と夏に現地に行き、漁師さんたちのお手伝いを本気でしている、南三陸をこよなく愛する大学生のグループです。春の訪問時には高校生とも一緒に活動しています。
- ◇ 南三陸の今を知ってもらおうと、これまで中高礼拝・恵泉デー・都内キリスト教学校が集まった「東京一祈りの輪」・学校説明会など、校内・校外のさまざまな場で活動報告をしています。